

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	山本 良一	電 話	483-1151 内線3561
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3258		事務事業名称	印旛沼対策事業					短縮コード	経常		臨時	3258
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	02	農業総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		千葉県栽培漁業振興総合対策事業補助金交付要綱、八千代市印旛沼稚魚放流事業補助金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
印旛沼の水利用を行ってきた中で渇水期の取水を確保するため揚水機場が昭和41年に建設された事により、魚の遡上ができなくなり水産資源の確保が難しくなった。千葉県と印旛沼隣接7市町村が、水環境の保全と水産資源の維持を目指して印旛沼への稚魚放流事業を行っている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして						
印旛沼の水害対策・水利用と密接に係り合い、県及び近隣市と協力して行っている事業であり、今後も関連自治体と調整をしながら対応していく必要があると考えている。					大項目（節）	01	農業						
					中 項 目	01	農業						
					小項目（施策）	02	農業経営体の育成						
					細 項 目	01	営農・経営支援体制の強化						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	漁業従事者 印旛沼漁業協同組合							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 印旛沼漁業協同組合に補助金を交付し、新川の平戸橋周辺に鰻や鮎の稚魚の放流を行った。							
	※平成21年度に計画していること： 関連自治体との調整。							
意図 （何を狙っているのか）	水環境の保全と水産資源の維持							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 9 年度	2 0 年度		2 1 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	漁協に加入している組合員数（市内）	人	13	13	13	13	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	新川に放流する稚魚の数量	kg	145	145	120	0	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	安定した漁獲量	kg	261	261	241	241	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3258	事務事業名称			印旛沼対策事業	所属名	農政課
			単位	1 9 年度	2 0 年度		2 1 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	100	100	100	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			補助金 100, 000円	補助金 100, 000円	補助金 100, 000円		
	人件費 (B)			千円	147. 9	432	349. 9	172. 8
トータルコスト (A) + (B)			千円		247. 9	532	449. 9	172. 8

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	水を継続的に利用できるようにすることは、漁業者のみならず農業者の経営安定化に重要である。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	農漁業を行うためには、現行の事業を継続する必要がある。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	千葉県と流域7市町村による共同事業であるため。					
☒ 可能性はない									
☐ 評価対象外事項									
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	県他流域7市町村と漁業協同組合等が連携して取り組む事業の実態は、その目的に適合している。						
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	千葉県と7市町村による共同事業を実施していることから、その有効性や効率性の向上には難しい。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等							
		☐ 臨時的任用職員等の活用							
		☐ I T化等の業務プロセスの見直し							
		☐ 受益者負担の見直し							
		☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)			
		☐ 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)			
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
	☐ ない								

コード	3258	事務事業名称	印旛沼対策事業			所属名	農政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			県をはじめ、関連自治体と協議しながら対応する。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止(事業完了含む)							
☐ 休止							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			県をはじめ、関連自治体と協議しながら対応する。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							
特になし。							

所属長コメント	・円滑な利水を継続していくためには、関連自治体との連絡体制の維持は必要である。						
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続		担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。				
	☐ 手法プロセスの改革・改善						
	☐ 事業規模の拡大・縮小						
	☐ 統合・役割見直し						
☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)							
☐ 休止							
☒ 現状のまま継続							